

プール開きがありました！

梅雨の間の晴れ間にプール開きをして、どのクラスもプール遊びをすることができました。

プール開きでは、中野副園長が「あわてんぼちゃん」になって、あわててプールに入って注意を受けるという寸劇をしました。子どもたちは、集中してお話を聞いていて、プール遊びでのお約束が頭に入ったようでした。

《プールのおやくそく》

- ① あさごはんをたべる
- ② プールのまわりではしらない
- ③ プールにとびこまない
- ④ せんせいのはなしをよくきく

プールは、水温と気温をたして50にならなければ入れません。外気温が高すぎても、熱中症予防のため入れません。楽しくプール遊びができる日は、何日あるのか・・・気になるところです。

あそぼう！

かんがえよう！

やってみよう！

くまぐみさんが一番に入りました。初めてのプール遊びでドキドキです。



パンダぐみさんでは、西室先生が水かけじぞうさんになりました。ようしゃない水かけにタジタジです。



3歳児も、順番になかよく入りました。
(5歳さんのプールの方に行ったので写真が少なくてすみません。)



5歳児は、小学校の小プールに入りました。胸近くまでの深さで心配したけど、こわがる子もいなくて、みんな大はしゃぎ！！最後は、じゃんけん列車で盛り上がりました。

ミスしても、すぐに立ち直れる強い心を！！

この力をレジリエンス(回復力)と言います。サッカーのワールドカップ初戦、日本は、強豪オランダに2-2で引き分けました。気落ちすることなく、「取られたら取り返す」の精神で引き分けに持ち込んだことは、選手の立ち直る力が優れていたといえます。コツは、「呼吸」。ゆっくりした腹式呼吸で心の安定が得られると聞きました。大人も子どももやってみよう！